

TTC 提案山行実施記録表

2015.8.20 報告者:KS

山行名	北ア鷲羽岳・水晶岳・雲ノ平 [2924m/2986m 岐阜県・長野県・富山県]															
実施日	2015年8月8日(土)～12日(水) 4泊5日 交通アクセス:マイカー															
天候/参加人員	天候 8/8～10:晴, 8/11, 12:曇 レベル:★★★★ 参加者:7名(男5名/女2名)															
パーティスタッフ	CL/計画: 、SL: 、会計: 、救護: 、写真: スタッフ名削除															
参加メンバー	参加者氏名削除															
費用 ¥48,400-	[内訳] マイカー使用料(580km×10円×2台) ¥11,600-, 高速代{圏央厚木IC-松本IC(3,650+5,110)、安房峠道路 770×2} ×2台 ¥20,600-, 燃料代(@140×580/8×2台) ¥20,300-, トライパー謝礼(5,000×2回×2台) ¥20,000-, ロープウェイ新穂高温泉駅～鍋平高原駅(400+100手荷物) ×2人 ¥1,000- 交通費合計 ¥73,500- 鏡平山荘(@9,500×7) ¥66,500-, 三俣山荘(@9,000×7) ¥63,000-, 雲ノ平山荘(@9,000×7) ¥63,000-, 双六小屋(@9,500×7) ¥66,500-, ひがくの湯(@700×7) ¥4,900-, 支出合計 ¥338,400-, 一人当たり ¥48,400- カンパ金 ¥400-															
所要時間	-	歩行時間					休憩時間					行動時間				
	-	8/8	8/9	8/10	8/11	8/12	8/8	8/9	8/10	8/11	8/12	8/8	8/9	8/10	8/11	8/12
	がいてブック	5:10	5:10	7:00	5:40	5:25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計画	5:35	6:15	7:55	6:35	6:00	1:05	1:30	2:15	1:50	1:20	6:40	7:45	10:10	8:25	7:20
	実行	5:10	6:35	7:20	6:35	5:15	1:00	1:20	1:55	1:20	1:20	6:10	7:55	9:15	7:55	6:35
実行コースタイム記録																
◆8/8(土) 累積標高差:登/下 1210m/0m 歩行:10km 朝食 (0:40) 本厚木===圏央厚木IC===談合坂===諏訪湖SA===松本IC===駐車場……新穂高温泉 3:00 3:40~55 5:20~5:50 8:00~20 9:00~10 1:15 1:35 昼食 1:10 1:10 ——わさび平小屋——水場——シシウドガ原——鏡平山荘 小休止(10) 10:35~45 12:20~50 14:00~10 15:20 ◆8/9(日) 累積標高差:登/下 560m/310m 歩行:8.5km 1:00 1:35 1:15 1:55 昼食 0:50 鏡平山荘——弓折乗越——双六小屋——双六岳——三俣蓮華岳——三俣山荘 6:05 7:05~15 8:50~9:05 10:20~35 12:30~13:10 14:00 ◆8/10(月) 累積標高差:登/下 580m/470m 歩行:10.5km 1:25 0:55 0:50 0:40 0:40 三俣山荘——鷲羽岳——(ワリモ岳)——ワリモ北分岐——水晶小屋——水晶岳—— 5:10 6:35~55 7:50~8:00 8:50~9:00 9:40~50 昼食 0:35 0:55 0:20 0:35 0:25 水晶小屋——ワリモ北分岐——祖父岳——日本庭園分岐——雷岩(水場)——雲ノ平山荘 10:30~11:10 11:45~55 12:50~13:00 13:20 13:55~14:00 14:25 ◆8/11(火) 累積標高差:登/下 300m/350m 歩行:8.5km 0:25 1:15 1:05 0:50 昼食 0:50 2:10 (散策)雲ノ平山荘——水場——日本庭園——黒部源流標——三俣山荘——三俣蓮華峠——双六小屋 (0:45) 6:45 7:10~20 8:35~45 9:50~10:00 10:50~11:30 12:20~30 14:40 ◆8/12(水) 累積標高差:登/下 80m/1540m 歩行:13.5km 1:05 0:35 0:40 1:00 1:00 昼食 0:55 双六小屋——弓折乗越——鏡平山荘——シシウドガ原——水場——わさび平小屋—— 5:25 6:30~40 7:15~7:25 8:05~15 9:15~25 10:25~11:05 (ロープウェイ) 1:55 新穂高温泉……駐車場==新穂高センター==ひがくの湯==松本IC==諏訪湖SA==圏央厚木IC==本厚木 12:00~12:25/12:30~12:50 13:00~05 13:10~14:20 ~ 16:15 21:00																
コースの概要、特記事項、反省事項等																
<p>去年もこの山行を計画しましたが、台風11号の日本上陸により中止となりました。今年は台風13号の発生で心配しましたが、大陸にそれたため、リベンジを果たすことができました。</p> <p>◆8/8(土) 2台の車でメンバーをピックアップし談合坂SAで合流しました。途中諏訪湖SAで朝食を摂り新穂高温泉に到着。予定より早めだったこともあり、深山荘そばの無料駐車場へ行ったが、やはり満車。</p>																

鍋平登山者専用駐車場(無料)へ停めることにしました。駐車場はまだ整備はされていないが、まだ空きがあった。駐車場から新穂高温泉の新穂高センターまでは40分かかった。センターへ登山届を出し出発。計画より20分早かった。

わさび平小屋で休憩。冷えたトマトが美味かった。左俣林道からようやく小池新道に入った。日焼け止めを塗ったが日差しが強く暑い。秩父沢(水場)の日陰で昼食を摂り、シシウドガ原で休憩して進んだ。右手に奥穂高岳や槍ヶ岳の雄姿を見ながら登った。鏡平山荘には計画よりも50分早く到着できた。部屋は個室で布団6枚に7人とまずまずの状態でした。夕食までは時間がたっぷりあるので鏡池のデッキで車座になり池に映る槍や穂高をつまみに、生ビールやHMさんがコンビニで買った日本酒で懇親会。

◆8/9(日)

天気は快晴、日の出を見ようとしたが、山が近すぎる為、朝焼け等の色の変化が見れず、諦めた。鏡池では、くっきりとした槍や穂高連峰が池に映っていた。今日は歩行時間が比較的短い為ゆっくり行動することにした。計画より5分遅れで出発し弓折乗越で休憩。この先は展望が開け後ろに笠ヶ岳、右手に槍と穂高が眼前に迫り、左手には双六岳を見ながら進んだ。花見平では雪溪の上を進んだ。途中、痩せ尾根で登山道保護の為ストックにキャップを付けるように注意書きがあり、ゴムキャップを付けた。正面の樺沢岳と双六岳の間に鷲羽岳が見えて来た。明日登る山である。双六小屋で休憩後双六岳に登る。山頂は実に展望が良い。鷲羽岳の奥に水晶岳も見える。丸山を通り、三俣蓮華岳で昼食。ここからは祖父岳や雲ノ平が一望にできた。また左手には黒部五郎岳も見えた。これから通る下山道の方に熊がいるとの情報があった。既に逃げたようで見つからなかった。三俣蓮華岳から山荘まではガイドブックで30分となっていたが、実際には下山に50分かかり14:00に到着した。

この日は混んでおり、布団1つに二人の割り当てだった。但し空きが3つできて、それを活用できた。夕食までには時間があり、談話コーナーでビールやSKさんが持って来た焼酎で懇親会や意見交換を行った。有意義なひと時でした。寝る前に星を見に外へでると天の川が見えた。久しぶりの天の川に感激。

◆8/10(月)

今日も晴、早出の為昨夜受取った弁当を食べ、計画より20分早く出発した。眼前の鷲羽岳山頂に向けて、急坂を登り始めた。山頂手前で眼下に鷲羽池が見えた。山頂では北アルプスの大展望をゆっくりと楽しんだ。イワギキョウ等の花を楽しみながらワリモ岳を通過し、ワリモ北分岐で休憩。STさんはザックをここにデポした。他の人は水晶小屋でデポし、水晶岳に向かった。山頂は狭くゆっくりはできない。水晶小屋に戻り昼食を摂った。野口五郎岳が真砂岳等の裏銀座縦走コースが一望にできた。MTさんと小屋で飲んだコーヒが美味かった。ワリモ北分岐に戻り、祖父岳山頂で休憩。堂々とした薬師岳が眼前に迫った。下山を始めると眼下に雲ノ平山荘が見える。キャンプ場のすぐ上に来たが、植生保護のために通行止で降りることができない。地図の通り大きく迂回することになる。キャンプ場で給水の予定であったが、雨が降りそうな気配もあり山荘へ急いだ。

雲ノ平山荘では宿泊者が予想の2倍になった為、部屋割りをやり直ししていた。決まるまでの間は食堂で懇親会。部屋が決まり布団2つに3人となった。昨日よりは少し広い。部屋ではOKさんが他所のメンバーも含めストレッチ教室を開き、好評でした。天窓からは強雨の音がしばらく続いていた。夕食時には雨も上がり、きれいな夕焼けになった。

◆8/11(火)

折角来た雲ノ平なので、全員でアラスカ庭園の方へ散策しに行った。岩が点在しチングルマ等の花がきれいに咲いていた。アルプス庭園(祖母岳頂上)は視界が広がり、正面に水晶岳が座り緩やかな緑の草原のように広がっていた。朝の散策後、計画より15分早く出発した。キャンプ場で給水し、日本庭園に向かう。予定時間を過ぎても到着せず、通り越してしまったようだ。道標があった所が日本庭園だったようだ。雪田そばで休憩し急坂を下る。黒部源流の渡渉箇所にはロープがあり難く渡ることができた。黒部源流標が見つからず、諦めて登り始めたら源流標が見つかった。三俣山荘に到着。山荘の食堂で昼食、ラーメンやカレー等を頼んだがこれが美味かった。SKさんが提案した食堂での昼食が大正解でした。食後の帰路はカールの巻き道だが、この先に熊がいるとのこと。丸山のカールにいる大きな熊が草を食べているように見えました。野生の熊を見たのは初めてです。皆さんも初めてのようでした。巻き道の花を見ながら双六小屋に到着。計画より45分早く到着。部屋は個室で布団は一人一つと一番のゆったりでした。外のテーブルで山を眺めながら生ビールで乾杯。その後、中のテーブルで懇親会を行なった。双六小屋の食事は大変うまかった。

◆8/12(水)

朝食は並んだ順番の為、4時15分には全員で並んだ。出発は計画よりも35分早く出発できた。下山時、登りの標高差が計画表では30mとなっていたが、実際にはもっとあり、プーイングとなった。地形図で再度確認したところ、双六小屋とピークの標高差は80mあることがわかった。もと来た登山道を下りたが、団体を含め大勢登ってきた。水場で休憩していたおばさんは水1Lしか持っておらず、既に空の状態だった。見かねたSKさんは水を譲り、御礼に手作りの饅頭を貰った。わさび平小屋で冷えたトマトを食べるのを楽しみにして下山したが、全く残っておらず、オレンジのみ数個残っていた。登る人が多かったので売り切れたようだ。ここの食堂で昼食を摂り新穂高温泉に無事に到着。

私とSKさんが車を取りにロープウェイで鍋平高原へ行き、新穂高センターへ戻りメンバーをピック

アップした。その後、ひがくの湯で汗を流した。スイカの名産地と言われる波田でお土産にスイカを購入し、松本ICから高速道へ入った。諏訪湖SAで夕食を摂り、帰路へ。大月から渋滞が始まった為、藤野PAでトイレ休憩し、解散した。本厚木には予定より早く21時に到着した。

天気にも恵まれ、鷲羽・水晶その他沢山の名山を雲ノ平や山頂・尾根から間近に見ることができて、大変贅沢な時間を過ごすことができました。また、仲間とおしゃべりをしながら楽しく過ごすことが出来ました。本当にありがとうございました。

参加メンバーからの一言

SMさん

山行歴2年の私にとって初の裏銀座縦走で、想定以上に気力・体力を要す5日間でした。しかしリーダーによる沈着冷静な計画遂行と諸先輩のご指導のお蔭で、360度の大自然の別世界にひたることができました。人・場所・時季・天候、どれをとっても最高でした。これからも日々体力づくりに励み、皆様との山行をご一緒させていただければと思います。

HMさん

4泊5日という長丁場でしたが、毎日感動の連続でした。双六岳、三俣蓮華岳、鷲羽岳、水晶岳、雲ノ平と、それぞれの山の素晴らしさに感動し、そこそこに咲く花々に癒され、メンバーとの楽しい会話に疲れも吹き飛びました。今回は、改めて縦走の楽しさを堪能することができた、思い出多い、忘れられない山行になりました。ありがとうございました。

OKさん

今回の山行に先立ち、今年発刊された「黒部の山賊」を読み、雲の平に思いを馳せていました。最後の秘境と言われる雲の平に立ち、伊藤正一さんのご苦勞を思い、そして素晴らしさに感動しました。雲ノ平山荘では談笑しながらバックミュージックのクライスラーの「愛の喜び」を聴きながらワインを頂き、また、帰りの三俣山荘では伊藤さんが眺望にこだわった2階の食堂でモーツァルトのピアノコンチェルト21番の2楽章、イーザリスニングでも聞かれる大好きなメロディーを聴きながらパスタを頂きました。音楽愛好家にとっても至福の時でした。

5日間に渡り天気に恵まれ、薬師岳、黒部五郎岳、笠ヶ岳、穂高連峰に囲まれた大展望、そしてミヤマリンドウなど多くの野草が咲き乱れ、素晴らしい縦走となりました。リーダーのきめ細かな気配りと思いやりに支えられ、登山中も楽しくおしゃべりをしながら事故もなく山行が達成できたことに感謝しています。また、メンバーのチームワークもすばらしく、楽しい山行となりましたこと、皆様にお礼を申し上げます。今回の山行はいつまでも記憶に残ることでしょう。

MTさん

5日間のロングコースは初めての為、約11kgのザックを背負い歩く事が出来るか少し心配でしたが良きリーダーと良きメンバーに恵まれ歩き通す事が出来ました。小屋に着いてからの皆さんの素早い行動に感心。どの山頂からも360度の大自然を見る事が出来最高。何時までも見ていたい気分になりました。登山道でも顔を上げると槍ヶ岳・穂高連峰・黒部五郎岳・薬師岳や遠くに笠ヶ岳等を見る事が出来感激。何時かは全部の山に登りたいと思いました。三俣山荘から見た満天の星に感激。特に天の川を見る事が出来感動。TTCの花ガイド(0さんとHさん)に沢山の高山植物の名前を教えて頂き感謝。お天気に恵まれ楽しいメンバーとの語らひは、大変想いで深い山行となり嬉しく思います。参加メンバーの方には感謝しています。本当に有難うございました。

SKさん

4泊5日の長丁場の山行お疲れ様でした。初日、2日と調子が上がらず、遅れ気味になり、参加メンバーにはご迷惑を掛けて失礼いたしました。鷲羽岳・水晶岳・雲の平と全て晴天に恵まれ、メンバーに恵まれ楽しい山行ができました。全てに満足した山行の中でも、印象に残ったのは、三俣山荘で見た『天の川』と遠くではありましたが、初めて見た『月の輪熊』でしょうか。メンバーとの語らひも楽しく、やはり皆さんと一緒に登る山はいいなと改めて感じました。山行の計画と晴れの天候にさせていただいたCLに感謝します。

STさん

5日間とも好天に恵まれたという“超”がつくレベルの幸運がベースにありましたが、槍・穂高連峰や立山連峰等々の北アルプスの壮大な山並みを常に堪能しながら、鷲羽、水晶、三俣蓮華等の山々のトレッキングや雲ノ平のお花畑散策を存分に楽しむことができました。連日の山小屋での反省会(?)ばかりでなく山行中も常に笑いが絶えず、これまでに参加した数ある山行の中でも指折りのメモリアルなものとなりました。「メンバに恵まれて」というありきたりの表現になってしまいましたが、このことを強く感じた5日間でした。素晴らしいチームビルディングができたのはCLを中心にメンバひとり一人の思いやりと協力の賜物だと思います。このような素敵な山行をずっと実施できるTTCで在り続けたいと改めて強く感じました。関係する皆さまに感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。

—以上—